

雲の上のまち



た報

けすばら

祝 成人おめでとう



令和4年梶原町成人式(令和4年1月3日)

令和4年 祝 成人式 <P2~3>

多様性のある森づくりを推進 <P5>

全国民生委員児童委員連合会会長表彰受賞 <P6>

雲の上ホテル・レストラン・道の駅 全面見直し<P6>

梶原高校 キャリア教育で文部科学大臣表彰受章 <P8>

西宮市・梶原町 友好交流協定締結30周年を迎えて <P16>

etc...

2 月号
2022
〈令和4年〉
No.764

●世帯数/1,758 (12月末)
1,745 (1月末)
●人口/3,343 (12月末)
3,325 (1月末)
○出生… 0 ○死亡… 6
○転入等… 1 ○転出等… 13

令和4年 祝 成人式

1月3日(月)、ゆすはら・夢・未来館で成人式を行い、平成13年4月2日から平成14年4月1日に生まれた32名が成人を迎え、うち23名が出席しました。

正午から行われた式典では、矢野教育長より新成人一人ひとりの名前が読み上げられた後、吉田町長の式辞、来賓を代表して市川議会議長から祝辞が贈られました。

その後、吉田町長から新成人代表の長山実樹さんに、記念品が手渡されました。

次に、新成人を代表して山崎柗太さんが、「こうして無事に成人を迎えることができたのも、幼い頃からここまで育ててくれた家族、多くの時間を共にした友人、また様々な形で私たちを支えてくださった地域の皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。私たちは二十歳という人生の大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。どうかこれからも温かい目でご指導、ご鞭撻をいただけたら

すようお願い申し上げます」と謝辞を述べました。

また、中学校から高校時代の恩師の方々からメッセージやお手紙をいただいた後、新成人全員から、二十歳を迎えての思いやふるさと、梶原への思い、将来の夢などを「二十歳のメッセージ」としてお話しいただきました。

氏原 弘人

愛媛県の食品工場で働いている。20年間いろいろと迷惑をかけてしまい申し訳なかったが、自分が成長して両親を支えていきたい。

加藤 優和

大学で舞台演劇を学んでおり、いくつか舞台出演させてもらった。継続して、夢の実現のために挑戦を続けていきたい。

川上 晋平

県内の短期大学で看護師を目指して勉学に励んでいる。ゆくゆくは地域医療に貢献できる看護師に

なれるようがんばりたい。

川上 梨玖

教員になるため教育学部で勉強している。教員免許が取れるようがんばりたい。お酒を飲んでも飲まれないようにしたい。

川田 果凜

高校卒業後、保育に関する勉強をしてきた。将来の夢は、保育士として立派になることと、お母さんみたいなお母さんになること。

河野 悠介

県内の大学で経済などを勉強している。梶原へは中学生から入ったが、あたたかく受け入れてもらい、充実した生活が送れた。

下元 優希

県内の会社に勤めている。いまが頑張りたいと思いがんばっている。

田村 涼晟

商船高等専門学校に在学中で、今年大阪の会社に就職する。ここまで育ててくれた両親には、少しずつ親孝行していきたい。

中岡 想代花

岡山県の大学に通っている。久

しぶりにいろんな人に会うことができ、こうやって成人式を迎えられてとてもうれしい。

中岡 千尋

県内の大学に通っている。中学・高校のときに海外留学に行つてから自分の夢が見つかったので、今それに向かってがんばっている。

中越 蒼空

県内の専門学校で自動車整備科に所属している。4月から自動車会社に就職するので、即戦力になれるようがんばりたい。

中越 星瑠奈

社会人として立派な大人になれるようがんばりたい。20年間育ててくれた両親に感謝している。

中越 寛陽

徳島県の大学に通って理学療法士の勉強をしている。いずれは高知県や梶原に帰ってきたい。

中越 隆太

県内でベルトコンベアー関連の仕事をしている。仕事や一人暮らしをするなかで、お金の大切さを改めて感じた。親孝行は、これから期待してください。



記念品を受け取る長山実樹さん



謝辞を述べる山崎柗太さん



恩師のメッセージ



講演会の様子



二十歳のメッセージの様子

中越 琳香

県内の大学で管理栄養士になるために勉強している。2年後には国試があるので、がんばって勉強していきたい。

長山 実樹

大学で教員になるための勉強をしている。残りの2年間で夢を叶えられるように勉強をがんばりたい。

西村 翼

大工をしている。父親の背中が大きすぎて追い付けそうになく自信がなくなっているが、大工になれるようがんばりたい。

久岡 実葵

県内の学校で歯科衛生士になるための勉強をしている。多くの人の

歯科疾患を予防・改善できるような立派な歯科衛生士になりたい。

廣瀬 由菜

今まで周りの友達や家族に迷惑をかけたが、その度に支えてくれて、みんなとてもあたたかいと感じた。これからもよろしくお願ひします。

藤井 嵐司

県内の会社で働いている。20年間本当にいろいろな迷惑をかけたが、これからは精神的にも大人になっていきたい。

松本 嗣音

広島県でスポーツの勉強をしている。ここまで支えてもらった人に感謝して、これから先恩返しできるようがんばっていきたい。

溝添 彩来

徳島県の大学で看護師と保健師の勉強をしている。将来、地元に戻ってきて、人の健康に関わる職に就きたい。

山崎 柗太

県内の大学の国際社会コースに通いながら勉強に励んでいる。今後は梶原町に恩返しができるよう日々いろいろなことに励んでいきたい。

新成人のみなさん、おめでとうございます。コロナ禍で不安定な情勢下ではありますが、成人として、責任と自覚をもち、自分の夢に向かって焦らずに一步一步、進んでいってください。

生涯学習課

令和 4 年度以降の成人式について

民法の改正により令和 4 年 4 月 1 日から成年年齢が 18 歳に引き下げになりますが、本町では令和 4 年度（令和 5 年 1 月実施）以降の成人式の対象者を従来どおり 20 歳といたします。なお、式典の新しい名称については、今後検討していきます。

（参考）令和 5 年成人式の対象者

平成 14 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日生まれの方

第12回「日本道路の森」間伐体験交流会 開催

昨年11月18～19日、第12回「日本道路の森」間伐体験交流会を開催いたしました。本活動は、高知県の「環境先進企業との協働の森づくり事業」を通じて、本町とパートナーズ協定を締結している日本道路株式会社の皆様との交流を深めることを目的として開催しています。

昨年度に引き続き、今年も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、活動内容を縮小しましたが、日本道路株式会社社員18名の皆様にご参加いただきました。

初日は、開会式、記念撮影の後、地元食材たっぷりのセラピー弁当をいただきながら、秋の栲原を体感いただきました。食事の



協力してセラピーロードの整備に励む



ピコ水力発電所の見学



広葉樹を植樹

後は、松原まろうど会の下元廣幸さんのアドバイスの下、久保谷セラピーロードの整備を行いました。荒れた路面を整地する作業でしたが、皆様手慣れた様子で、抜群のチームワークを発揮しながら、丁寧に整備いただきました。そして最後には、紅葉の深まるセラピーロードを散策した後、本年度より稼働したまつばらピコ水力発電所を見学されました。皆様が1日の作業を終えて、さわやかな秋空のような笑顔で満足されていた様子がとても印象的でした。

翌日は、仲間集落の協定林において、植樹活動を行っていただきました。日常では経験することのない作業を通じて、森林



日本道路株式会社と地域の皆様

整備の大切さを実感いただいたことと思います。

本交流会も12回目を無事終えることができました。これから栲原の森づくり、そして地域の皆様との交流を通じて、森と共に生きる栲原の魅力について理解を深め、応援していただけると、町としても取り組んでいきたいと思えます。

最後に、本活動にご尽力いただきました日本道路株式会社の皆様、そして地域の皆様へ感謝を申し上げます。

協働の森づくり事業 豊かな森林を目指して森林施業

一般社団法人四国クリエイト協会からの助成金を活用して、協働の森づくり事業を実施しました。川井地区では、搬出間伐を実施。間伐された森林は、林内に太陽の光が差し込み、明るくなりました。今後は、下層植生が繁茂し、多様な森へと成長していきます。また、川西路地区では下草刈りを、田野々地区においては林内に歩道整備を行いました。このような本町の森づくりへの支援は、四国クリエイト協会、栲原町森林組合、高知県及び本町とのパートナーズ協定による「協働の森づくり事業」を通じて実施されています。

本年は来町してのボランティア活動は行えませんでした。四国クリエイト協会におかれては、本町の森づくりの推進のため、これまでと変わらぬご支援をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

森林の文化創造推進課



集材



間伐前



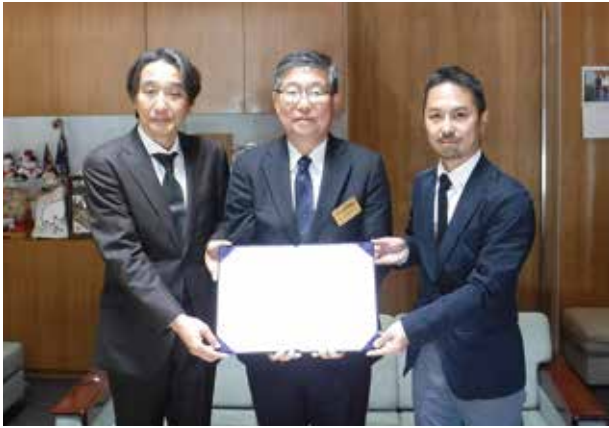
はい積



間伐後

多様性のある森づくりを推進

昨年11月17日（水）、三井住友カード株式会社及び一般社団法人モア・トゥリーズと地方創生事業に関する連携協定を締結しました。本協定は、三井住友カードから、クレジットカード利用明細書のWEB化推進により削減した費用の一部を、森林保全等に活用したいとお話をいただき実現したものです。



三井住友カードの中根氏（左）、モア・トゥリーズの水谷氏（右）が協定式出席

今年度は、芹川地区にて実施しています植林事業にご支援をいただいています。今後は地域とも交流を深めていただき、本町の進める森づくりにご参加いただきたいと考えています。

森林の文化創造推進課



今年3月末までに植林予定（芹川山）

地域林政アドバイザー研修会を開催

昨年12月7日（火）から9日（木）までの3日間、町有林等をフィールドにして、地域林政アドバイザー研修会を開催しました。本研修は、市町村等の地域林政の支援に必要な知識・技術の習得を目的に実施するもので、すでに本町の林政業務にご尽力いただいています方を含め、町内外在住の5名が参加しました。

講師に高知県林業振興・環境部の職員を招き、林業の現状と課題、法令に基づく届出制度や森林計画制度のしくみ等について学びました。また、最新のデジタル地図と



IT機器を使用した調査



研修修了証を受け取った受講生の皆様

IT機器を使った林況把握や地形に応じた作業道の路網設計等、林業分野の技術革新や業務効率化を体験しました。

研修を修了された皆様においては、引き続き本町を始め県内の林業・木材産業の発展にご協力をお願い申し上げます。

森林の文化創造推進課

全国民生委員児童委員連合会 会長表彰受賞

梶原町民生委員児童委員協議会副会長を務める川上芳郎氏が、全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞されました。

これは川上副会長の、10年以上の長きにわたり地域福祉の推進に貢献され、地域のために広く活動された実績が認められたものです。民生委員児童委員として訪問活動やボランティア活動などを通じてさまざまな支援を必要とする方々の相談相手となり、地域福祉の向上のために日々ご尽力いただいております。このたびの受賞、誠にありがとうございます。

保健福祉課



雲の上のホテル・レストラン の駅について全面見直し

現在計画中の新たな雲の上のホテル・レストラン及び道の駅について、当初予定していた事業費が大幅に増額することが判明しました。当初の建設費見込みは26億円(消費税抜き)でありましたが、約1.5倍となる38億8千万となり、増額の主な要因としては、コロナ禍におけるウッドショックや資材の高騰などによるものであります。

このことを受け、協議を行い、このままでは財源の確保が難しいこと、仮に縮小しても本来の魅力が損なわれ、自信と誇りを持てる施設にならないことなど、これまでの議論を踏まえ全面的な見直しが必要であると判断をいたしました。

昨年9月議会定例会において、一旦立ち止まり、町民の皆さんの意見も受けとめて検討し進めると申し上げ、議会では太郎川公園再開発に関する調査特別委員会を設置いただき、また一般公募も含めた12名の委員からなる太郎川公園再生検討委員会を立ち上げ、それぞれ調査検討をいただいているところであります。調査検討をいただいている中で、基本的な方針に関する今回の報告となりましたが、この事業が本町の未来に向けての重要な事業であることは変わりありません。

アフターコロナの社会の状況に留意しながら、住民の皆様にとっても誇りとなり、喜んでいただける施設となるよう取り組んでまいりますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

産業振興課

四国電力より 防犯街路灯・防災物品寄贈

四国電力(株)高知支店より防犯街路灯4灯と防災等関連物品を寄贈いただき、1月18日(火)、四国電力須崎営業所の山岡和也所長から町長に目録が手渡されました。

この街路灯寄贈については、四国電力(株)の地域貢献事業として平成4年から始まり、これまで109灯の街路灯を寄贈していただいております。

また、今年度は防災等関連物品(災害時に役立つ毛布9枚)も寄贈していただきました。

山岡所長は、「この寄贈灯や災害物品などで地域の安全・安心な暮らしに繋がっていただけたらと考えています」と話していました。

長きにわたって防犯街路灯や防災等物品の寄贈、災害時に停電が発生した時の迅速な対応などありがとうございます。今後

寄贈式の様子



も町民が安全・安心に暮らしていただけるようによりしくお願いたします。

総務課

税に関する高校生作文 「須崎税務署長賞」受賞

将来を担う児童・生徒の皆さんに税金への関心及び理解を深めてもらうため、租税教育の一環として、税に関するテーマとした作品を募集し、梶原高校1年生の藤本糸音さんが「須崎税務署長賞」を受賞しました。

藤本さんは、「気づかされた税の役割」をテーマに、税がどのような役割をし、その重要性など、改めて考えてみることで税について理解することができ、これからは税の意義と役割をしっかりと理解をして税金を納めていきたいという思いを綴っていました。

藤本さん、受賞おめでとうございます。今後とも、活躍を期待しております。

総務課



【今年度設置部落個所】
大蔵谷、北町、六丁、大向、の4灯です。



栲原こども園だより



右手で持って、回して、置くのよ



幼児組の3クラスの子どもたちがお茶の作法を教えられてもらっています。「お先に」「どうぞ」と、相手を思いやる言葉と一緒に、指先をそろえてお辞儀することや、ちよつと苦いお茶の味にも、少しずつ慣れてきています。



お茶席 おもてなし



ん？なんか冷たいけど、不思議なものね



雪が降って子どもたちは朝から喜んで登園していました。「雪降ったね」「外で



栲原お茶クラブの皆さんが着物姿で毎回来て下さり、私たちも着物の雰囲気やたたずまいに、日本のよき文化を知ることができ、感謝しています。

両手で擦り合わせてコマ回せるよ！



お部屋で、コマ回し

お正月が明けて、園では羽根突きやカルタ、コマ回しなどを楽しみました。凧は、ビニール袋で作り、凧ひもを引っ張って遊び、年

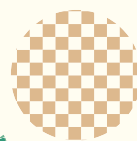


遊びたい」と、嬉しそうに先生と外に出て、雪を集めたり雪玉を作ってみました。



いくよー！それ

ホールで、羽根突き



一部の記事はホームページでも見ることができます。
<http://www.yusuharakodomo.jp/>

齢に合わせてながら、子どもたちが楽しめるように工夫しています。



桤高だより



キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰受賞

本年度、本校が文部科学大臣表彰受賞校となりましたことをご報告いたします。この賞は「キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた学校・PTA団体等に贈られる」とされており、本年度は学校の部では98校（高等学校は35校）が対象となりました。

受賞は後の「推薦理由」にありますとおり、ひとえに津野山地域の豊かな自然や文化、生活を守り、また発展させていこうという地域の皆様、保護者の皆様、関係各機関のご支援と見守りのもと、長きに渡り本校生徒が地域の取組への参加の機会をいただき、これを自らの将来について考える機会として着実に取り組むことができたからこそのもと考えております。

取組を進めて参りたいと考えております。今後も変わらず本校の教育活動へのご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

（以下、推薦理由）

高知県西部を流れる四万十川上流域にある桤原高等学校は、東津野・桤原の2中学校との連携型中高一貫教育校として6年間の計画的・継続的な教育活動により、生徒の学力の向上、個性の伸長、郷土愛の育成、社会や地域の発展に貢献できる人材の育成を目指している。キャリア教育を学校教育の中心に据え総合的な探究の時間や学校行事を中心として地域の歴史や伝統に触れながら、自分自身を客観的に見つめ、将来について考える体系の学習を、地元企業や自治体等の協力のもと実践しています。

（1）総合的な探究の時間・Y E L 「(Yusuhara's Education for Life and Living)」

総合的な探究の時間（通称Y E L）では、「地域の強みや課題に気づき、愛情を持って自ら地域のために動く」「自分の才能や強みに気づき、クリティカルシンキング（論理的・批判的思考）を身

につける」「時代の変化に対応できるグローバル人材になる」の3つのスローガンのもと、中高合同のキャリア教育講演会、地域を学ぶフィールドワーク「地域探検」、人口減少など地域に関連した内容や自己の在り方生き方について町内関係者の講話等を通じて考える「クリティカルシンキング講座」、地域密着型のインターンシップ、地域の課題に対して自分たちができることは何かを考え、活動する「地域課題解決学習」などの取組を、3年間を通じて系統的に行っています。

（2）地域をテーマとしたプロジェクト学習、またチームによる体験を通じて地域の歴史や文化・伝統を深く学ぶ以下のプロジェクト学習も、生徒の地元への理解はもとより、愛着や誇りを育み、地域を担う人材の育成に大きく寄与しています。

① 伝統文化「津野山神楽」の継承

桤原高等学校「デイスカバークラブ」の生徒を中心として、千年以上の歴史があり、国の重要無形民俗文化財にも指定されている「津野山神楽」を、地元の神楽保存会の指導を受けながら実践的に学ぶとともに、町内の行事等で学習の成果を披露しています。また、コロナ禍においては、神楽の魅力につ

いてインターネットを通じて全国に発信するなどの新しい取組も行っております。

② 環境資源「神在居の千枚田」の保全

「雲の上の町」とも呼ばれる桤原町は、平地が少ないことから山の斜面を利用した農耕作が発達しています。なかでも、町内に点在する棚田のうち「日本の棚田100選」にも認定されている「神在居の千枚田」は、有名な景勝地となつていきます。しかし、近年は後継者不足による耕作放棄地の増加が課題となつていくことから、生徒たちが田植え、草刈り、収穫等の維持管理活動に関わり、棚田の保全及び地域の景観の維持に貢献しております。

③ 産業振興や地域の魅力発信

鳥獣被害対策により捕獲した鹿肉や鹿革を活用し、地元の新たな産業になりつつある「ジビエ料理」や「鹿革レザークラフト」などの商品開発にも、地域の全面的な協力のもと挑戦しています。また、生徒が企画・立案を行い、SNS等を利用して桤原町をはじめとした津野山地域の魅力を発信する取組も進めており、町の広報誌や総合振興計画のリーフレットでも紹介されるなど、その取組は地域からも注目されております。

(3) 地域貢献活動

その他、隣接することも園の0〜6歳までの園児との合同避難訓練や、例年1500名を超える参加者のある「龍馬脱藩マラソン大会」の運営ボランティア（直近2年は中止）、冬場の除雪作業ボランティアなど、地域内外の幅広い年齢層の人々と関わりながらの地域貢献活動も積極的に行われています。なかでも、家庭クラブの生徒が栲原町内のボランティア団体とともにやっている、町内の道の駅にある茶室での休日のおもてなしボランティアは、17年間にわたり代々継承され、コロナ禍においても試行錯誤を重ねながら活動を継続させています。これらの活動は、生徒の自己肯定感を高め、豊かな人間性を育むとともに、改めて自己の在り方生き方を考えるきっかけとなつていきます。



一年生・座談会開催

1月19日午後、地域で活躍されている様々な職種の方をお招きし、対話をおして仕事や活動への思い、地域への思い、若者への期待などをうかがい、今後社会の一員としての自分を考える学びの機会として「座談会」を開催いたしました。今回は、「チームシルク・くわの実」様、「カフェJapan屋」様、「YURURIゆすはら」様、「ふじの家・みどりの家」様、「ゆすはらペレット」様、「栲原町教育委員会」様と炭焼きをされている前田栄一様のみなさまにお越しいただきました。

各グループ5〜6人に分かれ、お2人からお話をお聞きする形式で実施しました。直接地域の方から仕事の内容や思い、働くことの意義や高校生への期待等をお聞きすることができ、社会参加を意識する大きな機会となりました。



栲原高校に新しいALTがやってきた!

みなさん、はじめまして。私の名前はMaree Angelina Reyes です。「マリー」、または「Yen (イェン)」と呼んでいたけるとありがたいです。特に「イェン」は、私の子どもころからの呼び名です。趣味はいろいろなことに挑戦すること、写真撮影、日々の生活についていろいろ書くこと、友だちと一緒にご飯を食べること、散歩、テレビ鑑賞に、国を問わずいろいろな映画を見ることです。日本に来るまでは、カナダの都市トロントの中心部に住んでいました。でも、生まれと育ちはフィ

リピンです。

そして今回、私は栲原高校のALTとして、日本にやってきました。この町に着任してから、もうすでに、高校の生徒さんたち、先生方、そして地域のみなさんとすてきな時間を過ごすことができています。干し柿となべ焼きうどんに初挑戦し、「おきやく」にも顔を出し、高校の文化祭にも出席しました。この町は、冬の時期はとっても寒くなると思いますが、地域のみなさんは気候とは関係なく親切で、そして温かいままだなあ、と感じています。本当にありがとうございます。

マリー／イェン

(翻訳 栲原町教育委員会ALT 森竹弘喜)
※この記事は昨年末に執筆されたものです

これから2人で力を合わせて、栲原町の子どもたちが英語を学ぶお手伝いをします!



栲原学園 ALT のスティーブン (奥)
栲原高校 ALT のマリー (手前)

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

わすれもの救出大作戦！

持ち主を待っています



図書館ご利用後、お帰りの際はぜひ今一度忘れ物がないか身の回りのご確認をお願いします。現在図書館では館内の忘れ物を保管・分類しており、図書館入口のファイルで誰でも閲覧出来るようにしております。充電器、イヤフォン、ハンドタオル、おもちゃ類など、たくさんの忘れ物が持ち主を待っています。1年間の保管期間が過ぎたものから順次廃棄しますので、お心当たりの方はファイルをご覧ください。

完成！みんなで作った栲原絵巻

1階特集棚に展示しています



去る令和3年10月24日に開催された第8回栲原町芸術祭特別ワークショップ「みんなで栲原絵巻をつくろう」で町民の皆さんにご協力いただいた作品が、仕上げ作業を終えて3巻の巻物として完成しました。栲原産の手漉き和紙に、コロナ禍の栲原で暮らす皆さんの率直な想いを綴っていただき、栲原町在住イラストレーターhamacoさんが最終仕上げを行いました。”想いを伝える”をテーマに書簡や手紙に関する本とともに特集していますので、ぜひご覧ください。

最先端の知に触れる

『料理と利他』

著:土井 善晴、中島 岳志

料理研究家と政治学者の二人が、家庭料理、民藝、地球環境、直観、自然に沿うこと等々について縦横無尽に語らい、ステイホーム期間に圧倒的支持を受けたオンライン対談「一汁一菜と利他」を完全書籍化。



自分の人生を、自分らしく

『さいごはおうちで』

著:永井康徳 マンガ:ミュージックワーク(ねこまき)

日本では、病院で亡くなる人が8割。でも、住み慣れた自宅で安心してさいごを迎える選択肢もある。瀬戸内の在宅医たんぼ先生の実話を、あたたかなタッチのマンガで紹介する。やさしい「在宅医療」の教科書。



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

3月の休館日

1、8、15、22、25、29

- ご協力お願い致します。
- ・マスクの着用（2才～）
 - ・手指の消毒
 - ・滞在時間は短めに



心のサインを感じたら、話して欲しいその言葉

3月は自殺対策強化月間



こころの健康と体の健康は密接にからみあっています。私たちは職場や家庭での人間関係等、日常生活の中で絶えず様々な刺激を受けています。それらによって生じたこころのゆがみをストレスととらえます。こころや体、行動が「いつもと違うな」と感じたときにはこころがストレス等に耐え切れず、体調を崩しているのかもしれない。

日本では年間に2万人に及ぶ自殺者がいます。自殺者は10年連続で減少していましたが、令和2年は増加しており、特に女性や若者の自殺者が増加しています。悩みや苦しみをひとり抱え込み、誰にも相談できずに自ら命を絶つということが私たちのまわりで起きています。しかし、自殺は防ぐことのできる死と言われています。自殺対策基本法では3月を自殺対策強化月間と定め相談事業や啓発活動を実施しています。梶原町でも、誰も自殺に追い込まれることのない町の実現を目指して取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症とい

う、先のない感染対策や、仕事など、日常生活でいつも以上にストレスや不安を感じている方も少なくないと思います。「これくらいの不調なら我慢しなくちゃ……」と思わないで、こころのサインを感じたら、誰かに話してみてください。

● ストレスによるこころや体の変化

【こころ】

- ・ 憂鬱な気分が続いている
- ・ 気分が落ち込んだままに戻らない
- ・ ものごと集中できない
- ・ なんだか不安で落ち着かない
- ・ わけもなく涙が出てくる
- ・ 理由もなくイライラしてしまう
- ・ 今まで関心があったことに興味を持てなくなった
- ・ 何もやる気が起こらない など

【体】

- ・ 耳鳴りやめまい、肩こりがある
- ・ 頭痛や吐き気がする
- ・ 夜眠れない、夜中に何度も目が覚める
- ・ 食欲がわかない、または食べ過ぎてしまう
- ・ いつも体がだるい

【行動】

- ・ 胸がドキドキする など
- ・ 人に会いたくない
- ・ ひとりでの時間が多くなった
- ・ 遅刻、早退、欠席が増えた
- ・ 運動や外出が面倒くさい
- ・ 服装や髪型などに気を使わなくなった
- ・ 忘れ物が増えた
- ・ ネガティブな発言ばかりしている
- ・ 簡単なミスを繰り返してしまう など

これらの変化はあくまでも目安です。おかしいな？ 当てはまるかな？ と思ったら専門機関や病院受診など、まずは誰かに相談してみてください。最近では電話やチャットでも相談できる場所が増えています。

こころの変化は自分ではなかなか気づくことができません。「ちょっと疲れているだけ」と思い込み、対応が遅れることで悪化してしまうことがあるので、周囲の人の気づきも大切です。周りの人が悩んでいる様子や普段と違うと感じることがあるときには、まずは声をかけてみてください。あなたの行動で守れる命があります。

● ストレスと上手につき合うために

自分がストレスと感じていなく

ても気づかないうちにこころや体に負荷がかかっていることがあります。自分にとってのストレスが何なのか、ストレスによって出てくる不調のサイン、自分に合った解消方法を知ることが大切です。自分のこころのサインに耳を傾けながらストレスと上手につき合っていくみましょう。保健福祉課

相談窓口	相談内容	相談先	時間
高知県精神保健福祉センター	心の健康相談	088-821-4966	月曜～金曜 (8:30～17:15)
	心のテレ相談	088-823-0600 (相談専用電話)	月曜～金曜 (13:00～15:00)
高知いのちの電話	自殺予防のための電話相談	088-824-6300	毎日 (9:00～21:00)
高知県立消費生活センター	消費生活相談全般 多重債務の相談	088-824-0999	日曜～金曜 (9:00～16:45)
働く人の悩みホットライン	働く上での様々な 悩みの電話相談	03-5772-2183	月曜～土曜 (15:00～20:00)
心の教育センター	不登校やいじめ、子どもの 教育に関する相談	088-866-0901	日曜～金曜 (9:00～17:00)
24時間子供 SOS ダイヤル	子どもや保護者のいじめや その他の悩み相談	0120-0-78310	24時間対応可能
NPO 法人 あなたのいばしょ	チャットによる心の相談	http://talkme.jp/	24時間対応可能
梶原町保健福祉課	生活での様々な相談	0889-65-1170	月曜～金曜 8:30～17:15

知ろう・防ごう障がい者虐待



障がい者虐待とは？

障害者虐待防止法では、障がい者への虐待を3つに分けています。

- ① 養護者による虐待
- ② 障害者福祉施設従事者等による虐待
- ③ 使用者による虐待

誰もが障がい者に対して、虐待をしてはならないと規定されていますが、障がい者への虐待はどこでも起こる可能性を持っています。

虐待を受けている障がい者やその周囲の方々、もし虐待があった場合は、担当窓口にご相談ください。

どんなことが虐待にあたるのか？

身体的虐待

障がい者の身体に外傷が生じ、もしくは生じる恐れのある暴行を加え、または正当な理由なく身体を拘束すること。

(例) 殴る、蹴る、食べられないものを無理やり口に入れる、ベッドなどに縛り付ける

性的虐待

障がい者にわいせつな行為をすること、させること。

(例) 性的暴力、性的雑誌やビデオを見るように強いる

心理的虐待

障がい者に対する著しい暴言や対応、または不当な差別的言動など、著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

(例) 怒鳴る、ののしる、無視する、差別的に扱う

放棄・放任(ネグレクト)

障がい者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置など、養護を著しく怠ること。

(例) 食事を与えない、入浴させない、必要なサービスを受けさせない

経済的虐待

障がい者の財産を不当に処分する、または不当に財産上の利益を得ること。

(例) 障がい者本人の同意なしに財産や預貯金を処分・運用する、日常生活に必要な金銭を障がい者本人に渡さない

疲れていませんか？

障がい者虐待は、障がいに関する理解不足、介護疲れ、障がい者と養護者との人間関係の強弱など、様々な要因が絡まって起こります。障がい者の介護をする場合は、家族全員が協力して行い、地域の様々なサービスも積極的に利用しましょう。

また、心身ともに疲れ切っている養護者には、息抜きや趣味の時間を持ち、リフレッシュすることも必要です。

町内には、障がいを持つ人やその家族が情報交換を行ったり、互いに支え合う会があります。

- 梶原町身体障害者連盟(身体)
- 梶原町手をつなぐ親の会(知的)
- 梶原町精神障害者家族会(精神)

虐待だと思ったら

障害者虐待防止法では、虐待を受けたと思われる障がい者を発見した者は速やかに市区町村などの担当窓口に通報すること、が義務付けられています。また、通報等を受けた職員は正当な理由なしに通報等をした者を特定させる情報を漏らしてはならないと規定されています。

梶原町では、虐待に関する通報や相談は、保健福祉支援課内

に設置している梶原町障害者虐待防止センターが受け付けます。通報したからといって不利益な取り扱いを受けてはならないと法律で規定されているので、迷わずに通報・相談してください。みなさんのご協力をお願いいたします。

【問合せ先】

梶原町障害者虐待防止センター
(保健福祉課内)
☎ 65・1170

銃刀法が改正され、令和4年3月15日以降、クロスボウの所持が原則禁止・許可制になります。改正法の施行後、不法に所持した場合は罪に問われます。

クロスボウの廃棄回収



警察署でクロスボウの引き取りを行っています。(令和4年9月14日まで)身分確認の上、クロスボウを引き取りますので、須崎警察署の生活安全係までお問い合わせください。なお、交番や駐在所、警察本部では引き取りができませんので注意してください。詳しい改正の内容については、警察庁ホームページをごらんください。

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/hoan/crossbow/index.html>

須崎警察署 (0889) 42-0110



在宅生活おうえん事業補助金について



在宅で暮らしている高齢者や障害児(者)の生活を応援し、要介護状態への進行防止や自立生活の継続助長を図ることを目的として、補助を行っています。

①住宅改修

材料費の90%を助成

≪限度額6万3000円

※材料費のみが補助対象です。で、工賃等は含みません。

②福祉用具

90%助成

≪限度額2万7000円

▼対象者

町内在住の65歳以上の高齢者及び障害児(者)。ただし、要介護・要支援認定を受けている方については、介護保険サービスの住宅改修及び福祉用具購入を優先し、障害児(者)については、障害福祉サービスが優先されます。

▼補助内容

①と②それぞれ利用できます。いずれも対象者1人につき、生涯にわたって、限度額まで補助金を交付します。

住宅改修の例



■手すりの取付け ■段差解消 など

※1回の交付で限度額まで補助金を使い切らなかった場合は、2回目以降も残額を限度に交付申請が可能です。※申請には、工事前・後の写真や、材料代等や購入用具の領収書が必要です。

申請の希望をされる方は、住宅改修の工事内容や福祉用具の種類によっては補助対象外となる事があるため、工事及び購入前にご相談ください。

【問合せ先】

保健福祉課福祉係

☎65・1170

福祉用具の例



■ポータブルトイレ
■浴槽手すり
■入浴用イス
■ベッド手すり
■歩行器 など

棒原町では、在宅で介護をされているご家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図り、在宅での生活環境を整えるとともに、被介護者の在宅生活の継続と福祉の向上を図ることを目的とする支援を行っています。

▼対象者

棒原町に住所を有し、以下のいずれかに該当する方を在宅で介護されている方
・要介護3以上の方
(要介護2の方でも認知症の

在宅生活おうえんチケット・思いやり家庭支援金について

症状が重い方で対象となる場合があります。・障害支援区分4以上の方

▼事業内容

- ①在宅生活おうえんチケット
月に5日分まで、サービス(デイサービス・ショートステイ)の利用者負担分を助成します。
- ②思いやり家庭支援金
月額1万円を支給します。
※所得制限があります。

【問合せ先】

保健福祉課福祉係

☎65・1170

スポーツ安全保険

文化活動も加入出来ます

対象となる事故 団体活動中の事故/往復中の事故

保険期間 令和4年4月1日の午前0時から
令和5年3月31日午後12時まで

公益財団法人 スポーツ安全協会 高知県支部

☎088-820-1755

電話受付時間 午前8時30分~午後5時15分(土、日、祝日除く)

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。スマートフォンからもお手続きできます。

スポーツ安全保険

検索



こうちあったかパーキング制度

こうちあったかパーキング制度（高知県障害者等用駐車場利用証交付制度）とは？

公共施設や店舗などの障害者等用駐車場を適正にご利用いただくため、障害者や高齢者など移動に配慮が必要な方に、高知県が県内共通の利用証を交付する制度です。利用証をお持ちの方は、協力施設として登録している駐車スペースに停めることができます。この制度で利用できる施設については、高知県障害保健福祉課ホームページでご確認ください。

対象となる方

身体障害・知的障害・発達障害・高齢・難病などにより移動に配慮が必要な方
妊産婦・ケガなどにより一時的に移動に配慮が必要な方

申請の方法

交付申請書に手帳等確認書類がわかる書類を添えて申請窓口へ提出してください。
※ご家族等が代理で申請する場合は、代理の方の身分証明書が必要です。

利用証の使い方

利用証はルームミラーなどにかけて、外から見えるように掲示してください。

この制度の基本となるのは、一人ひとりのゆずりあいの心です。
本当に必要な方が利用できるようご協力をお願いします。



問合せ先

高知県障害保健福祉課 ☎088 - 823 - 9663
須崎福祉保健所 ☎42 - 1170
梶原町保健福祉課福祉係 ☎65 - 1170

3月の行事予定

- | | |
|--|---|
| 1日(火) アメゴ解禁
梶原高校卒業証書授与式
春の火災予防運動(7日まで) | 16日(水) 行政相談
18日(金) 梶原高校修了式
20日(日) 梶原町交通安全の日 |
| 11日(金) 梶原学園9年生卒業証書授与式 | 22日(火) 梶原学園6年生卒業証書授与式 |
| 12日(土) 環境整備デイ | 23日(水) 梶原学園修了式 |
| 15日(火) 所得申告受付終了 | 24日(木) 梶原こども園卒園式 |

3月の保健福祉課行事予定

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1日(火) 西区いきいき(上成) | 11日(金) 東区いきいき |
| 2日(水) 松原サテライト | 12日(土) 12期生健康文化の里づくり推進員全体会 |
| 3日(木) 四万川宅老 | 15日(火) 小児健診(午前中) |
| 4日(金) 初瀬いきいき | 16日(水) あゆみの会 |
| 7日(月) げらげら家族会 | 17日(木) 四万川いきいき |
| 8日(火) 小児健診(終日) | 18日(金) 献血(役場庁舎) |
| 10日(木) 越知面デイ
東区宅老 | 22日(火) 西区いきいき(広野) |

毎週月曜日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

毎週水曜日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

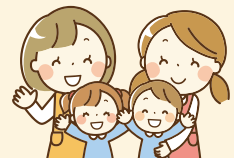
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

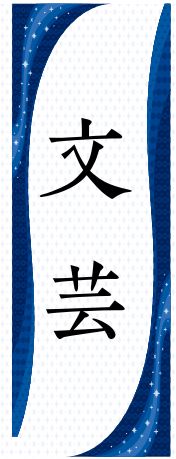
ゆすっこ相談センター相談日 1日(火)半日、15日(火)半日、22日(火)終日、29日(火)半日

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 14日(月)、15日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。



杉の子俳句会

初場所や鬻を乱して勝ち名乗り

下元 廣幸

すき焼きに土佐の地酒を足しにけり

今城 真人

老け顔を風に晒して若菜摘む

西村 幸枝

二階から下りて忘れる初夢よ

大崎みなと

年始酒飲むこともなく菓飲む

明神伊佐子

埋み火や大黒柱の傷ひとつ

川田 早苗

鍬初め土の目覚めを促しつ

久岡 智子

若き等に力もらいし年の明

西村 蓉子

枇杷の花ミサイル弾道昏れる海

掛橋 初子

犬を誉めとどめは俺と牡丹鍋

影浦 鉄心

青春は箱根駅伝ど真ん中

氏原 陽子

南国の色を揺らして踊初め

内野 純子

柚子の木俳句会

二年ぶり揃いて受くる初祓

西村由利子

乗り降りす体重計や雑煮餅

西森 誠子

新年や孫は小学一年生

中平 忠雄

襟巻の温もり父と整髪料

中越 郁子

雪晴や輪轍をえらぶ散歩道

渡辺 瑞枝

早朝に除雪に来たる息子かな

中越 秋子

初仕事たまるか物の増えたこと

吉田 敬子

新日記三年間の白キャンバス

広瀬 卓雄

川柳

おこぼれが目だたぬ色のズボン買い

河野 哲夫

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【広報へのご寄付】

中越 真郷 様 (下本村)

他匿名希望の方 1名

【ふるさとづくり寄付金】

廣瀬 公徳 様 (東京都)

加藤 里佳 様 (東京都)

讚井 康智 様 (東京都)

貝瀬 雄一 様 (東京都)

檮原 康 様 (三重県)

上田 たか子 様 (三重県)

政岡 幸樹 様 (岡山県)

平沼 博将 様 (京都府)

片山 弘紀 様 (高知市)

仁尾 豊 様 (高知市)

高山 弘美 様 (大阪府)

藤田 浩之 様 (大阪府)

和田 理香 様 (大阪府)

池側 恵 様 (大阪府)

恒松 衛 様 (千葉県)

木村 昌司 様 (千葉県)

青山 英明 様 (神奈川県)

武藤 藍 様 (神奈川県)

乙部 洋輔 様 (徳島県)

森下 順次 様 (兵庫県)

石川 幸枝 様 (広島県)

粕谷 亮太郎 様 (埼玉県)

粕谷 昌彦 様 (埼玉県)

他匿名希望の方 211名

【その他のご寄付】

下元 ふみ子 様 (東町)

故・下元 薫氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)

田邊 弘 様 (川井)

故・田邊 盛幸氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)

高橋 妙 様 (高知市)

故・高橋 幸子氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)

中越 武俊 様 (佐川町)

故・中越 清寿氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)

●ご結婚

届出時の住所	夫婦氏名	婚姻日
飯高 知 母市	夫 貴も 妻 雅も	R3.12.16
下内 本子 知市	夫 世子 妻 佳美	R4. 1.11
高仲 高仲 市間	夫 貴徳 妻 佑瑞	R4. 1.11

●おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
上 成 中野	安子	女	R3.12. 1	8 2	本 人
太 田 戸 川	代喜	女	R3.12.12	9 8	川上末秋
広 野 野 塚	キミエ	女	R3.12.15	9 0	本 人
下 本 村 戸	静子	女	R3.12.21	9 9	本 人
下 野 河	次子	女	R3.12.29	8 7	河野光男
飯 母 中	清寿	男	R3.12.31	8 4	本 人
久 保 谷 久	岡義三	男	R4. 1.25	9 2	本 人
大 蔵 谷 横	全英	男	R4. 1.31	8 5	本 人

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています



マーメイド号とともに

僕は、くもっぴー！
雲の上の図書館に住んでいる雲の妖精だよ。今回は、兵庫県西宮市のキャラクターで僕の親友の「みやたん」と西宮市と栲原町を探検して来たよ。そんな様子を紹介するね！



西宮市・栲原町 友好交流協定 締結30周年を迎えて



堀江謙一さんが太平洋横断に旅立たれた「西宮ヨットハーバー」にて

令和3年3月に兵庫県西宮市との友好交流協定締結30周年を迎え、今年度は節目の年として将来に向け交流を深めるためセレモニーを予定しておりましたが、新型コロナウイルスが猛威を振るった状態で人と人との交流を行うことが厳しい状況が続きました。
そのような中、西宮市から、30周年をきっかけに栲原町の皆様に西宮市の魅力を更に知っていただき交流の絆を深めたいとの願いから、西宮市キャラクター「み



四国カルスト、くもっぴーのお家「雲の上の図書館」を案内



やたん」が雲の上の図書館に住んでいる「くもっぴー」に会うため栲原町へ遊びに来てくれました。そして、「くもっぴー」も西宮市へ遊びに行つてきました。その探検の様子をご紹介します。
※「みやたん」と「くもっぴー」は、西宮市在住のハッピークリエイターたかいよしかず氏がそれぞれのキャラクターをデザインしています。兄弟といっても間違いではないかもしれません。
まちづくり推進課

くもっぴーのプロフィール

2018年5月26日生まれ（現在3歳）
※図書館開館日と同じ誕生日

雲の上の図書館に生息している雲の妖精。雲の形とヒヨンの木（ゆすのき）の実の形をモチーフにしています。ヒョウヒョウと鳴きながら、空の上を舞っています。見つけたるといいことがあるかも！？

みやたんのプロフィール

2011年10月1日生まれ（現在11歳）

西宮の山から流れる川、伝説が残る池、ヨットが浮かぶ青い海、上質なお酒を造るのに欠かせない宮水。この水たちに誘われるように西宮に舞い降りた「水色の妖精」は、西宮のまちをめぐるのが大好きで、たどり着いた甲山で「西宮に眠る宝物を見つけて守ってほしい」という不思議なメッセージと共に王冠を手に入れました。そのメッセージに導かれみやたんは、宝物を探しながら、まちを旅しています。

編集後記

熊本県のくまモン、須崎市のしんじょうくん、ゆるキャラグランプリは終了しましたが、ゆるキャラ（みうらじゅん氏命名）はすっかり生活に根付きました。ここ栲原町でのゆるキャラと言えば、雲の上の図書館の「くもっぴー」。2018年の開館以来、雲の妖精として、館内のあちらこちらに白く丸っこい姿を見せています。小型フィギュアも、館内のガチャマシンの商品として人気で、栲原を背負う新たなキャラクターに成長してきました。

2013年に登場していた「経高くん」がヤキモチを焼くでしょうか？「いえいえ、延喜13年（913年）に栲原を開いたとされる経高くんは、そんなことは気にせず、くもっぴーと栲原町を盛り上げてくれるでしょう。」

ただ、みうら氏によるとゆるキャラを名乗るには、着ぐるみ化が必要なのだそう。先日町に遊びに来た、西宮市キャラクターの「みやたん」は着ぐるみがありませんが、残念ながらくもっぴーと経高くんは、着ぐるみどころか、未だに公式サイトでもきちんと紹介されていません。きちんとサイトに載せ、町職員の方々が創意工夫し、しっかりアピールしてほしいと思います。子どもたちにイラストや漫画を書いてもらってもいいかもしれません。作りっぱなしでなく、今あるものを大切に、最大限に活かしていくことを望みます。

〈広報編集委員会〉